

大口高根 おほくね たかね 戯作者。弘化四年(二月)二十一日尾張國生れ、明治二

十九年九月十八日歿(八七—九六)。本名八兵衛、幼名八太郎。別號

一返舎三九、不_レ二の家主人、不_レ二の家の高根、不_レ二の家高根、不_レ二の

屋高根、不_レ二乃家高根、不_レ二廻家、不_レ二廻家主人、不_レ二廻家高根、不_レ二の

廻舎主人、不_レ二廻舎高根、井蛙生、千鶴、大_レく、大口実山、大_レ

聖堂主人、子の白庵美山、巨口、巨口夫山、巨口氏、巨口龜、新野齊

達磨、枯木庵、瓢箪千生、珍分館不知、花陰爺、菊石老人、高根、龜

の家藏六。妻七き(弘化四年生れ、昭和四年(二月)二十一日歿)も品女

と號し、和歌、俳諧を能くした。

著書『西洋書』(内題「開_レ西洋事分喜」)不_レ二乃家高根名、明治七年十

月玉澤屋新七板)、『新形蝶千鶴』(不_レ二の家主人名、明治二十二年十

一月自由齋)、『義理進物業内』(不_レ二廻家高根名、明治二十八年十

二月十五日川瀬代助刊、春陽堂・幾金基堂)等。

